

国立病院機構熊本医療センター

No.159



くまびょう NEWS

NHO KUMAMOTO MEDICAL CENTER KUMABYO NEWS

発行所
国立病院機構熊本医療センター
〒860-0008
熊本市二の丸1番5号
TEL (096)353-6501(代)
FAX (096)325-2519

第29回 開放型病院連絡会開催迫る

平成22年度第1回(通算29回)の国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会が、来る9月2日(木曜)午後7時より、熊本県民交流館パレアホール(鶴屋東館10階)で開催されることになりました。総会ではミニレクチャー1題、病院からのお知らせ、総合討論などを企画させて頂きました。そのあと7階鶴屋ホールにおきまして意見交換会も予定してお

ります。多数のご参加を頂きますようご案内申し上げます。看護部門、事務部門、MSWの方などのご参加も歓迎いたします。出席の返事を出されていない先生方もぜひご参加下さい。

当日、会場にて新規登録医の受付もできます。ご希望の先生は会場受付でお申し付け下さい。

(副院長 河野 文夫)

第29回 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会

日時：平成22年9月2日(木)午後7時00分～
会場：熊本県民交流館パレアホール(鶴屋東館10階)
内容：総会

1. ミニレクチャー「新しい糖尿病薬インクレチン関連薬の特徴と使い方」
国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌科医長 豊永 哲至
 2. 病院からのお知らせ
 3. 総合討論
- 意見交換会 鶴屋東館7階 鶴屋ホール

【参加申込先】国立病院機構熊本医療センター管理課
電話 096-353-6501 内線5690(高倉・横尾)
住所 〒860-0008 熊本市二の丸1-5

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営



「君といつまでも」

医療法人ましき会
益城病院

理事長 犬飼 邦明
院長



まずは国立熊本医療センターのリニューアルオープンおめでとうございます。

お招きいただき、新装なった病院に初めて足を踏み入れ、晴れ晴れとしたスタッフの皆様の笑顔に迎えられた時、とても懐かしい思いがしました。顔ぶれや施設は変わっても、目を閉じると以前と同じ空気が香りが漂っていました。懇親会の席で、岡部先生と同席させていただきました。周囲を見回すとあちこちにお世話になった先生方や看護師さんの姿があり、二の丸会のメンバーであることが誇らしくなりました。

いまや「国立」は、押しもおされもしない精神科

救急医療のメッカであります。渡辺健次郎、山下建昭両医長はじめ全スタッフは「断らない救急」を目標に大きく変貌しました。時間外救急の他、自傷行為や自殺企図、身体合併症の悪化など民間病院では対応困難なケースの大半を受け入れていただいています。2009年の日本病院会医学会（学会長：宮崎久義前院長）精神科救急シンポでは、他の演者から燃え尽きや壮絶な戦死をあやぶむ声が出ていたほどです。

私は昭和58年から2年間研修医として「国立」で過ごしました。麻酔科、内科、神経精神科の修練を受けましたが、感動的な初体験の連続でした。各科の先生方がとても仲がよく、医局も看護部も事務も薬局も検査も、みな分け隔てなく付き合っていました。忘年会の幹事、花見の場所取り、女子駅伝のカンパ集めや寒風の中の応援、釣りクラブや餅つき等々やられました。全て光野利英先生の「あんたがせなりたい」のひと言によるものでした。当時、野田秀樹先生と共に連れて行っていただいた梅鉢やVINVINやサンルイや瓢六は30年たった今でも行きつけの店です。

私の病院も精神科の臨床研修指定病院になり、済生会、中央、市民、熊大の各病院から研修医が廻ってきます。自分がそうであったようになるべく飲み方に連れ出し、医師以外のスタッフとの付き合いを大事にするように伝えております。仮に私の指導医は誰かと問われたら「自分の指導医は国立の各先生方」と、胸を張って答えるでしょう。そんな青春の一頁を提供いただいたことに感謝します。

（追）つい先日、中村 弘先生の突然の訃報に接しました。本丸会の創始者であり、いつも暖かい言葉をかけていただいた先生の面影が浮かびます。この紙面を借りて謹んで哀悼の意を表したいと思います。

FAX紹介での時間予約制をご活用下さい

日頃、多くの患者様をご紹介頂きまして誠に有り難うございます。紹介患者様の待ち時間を短くするためにFAX紹介で時間予約ができます。月から金の日勤帯です。

当院のFAX紹介用紙に受診希望日を入れてお送り下さい。担当者がカルテを作成し希望日に時間予約を取りましてFAXにて返信致します。是非、FAX紹介での受診日の指定と時間予約制をご活用して頂き、患者様の待ち時間短縮にご協力下さい。よろしくお願い申し上げます。

FAXの紹介用紙は、電話（代表 096-353-6501 内線 2360）またはFAX（医事 096-323-7601）でご請求頂きますと、直ちにFAXにてお送り致します。また、後ほど改めてFAX紹介用紙を郵送致します。

ホームページからもダウンロード出来ます。

国立病院機構熊本医療センターホームページアドレス <http://www.nho-kumamoto.jp/index.html>

（経営企画室長 中村 敦）

新病院施設紹介〈10〉

血液浄化センター

血液浄化センター入口（5西病棟内）



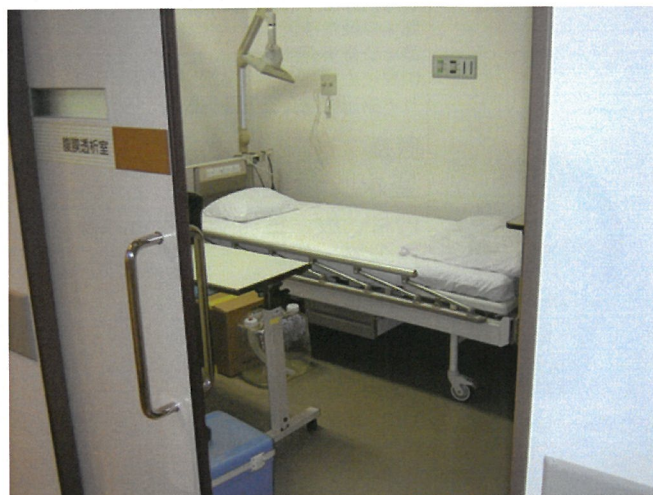
透析室



血液浄化センタースタッフ

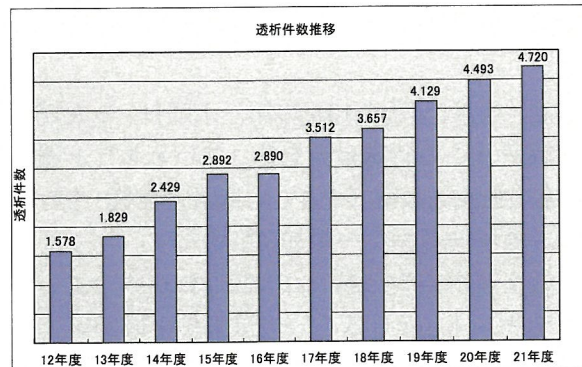


腹膜透析室



糖尿病患者の増加と高齢者の増加に伴い、全国的に透析患者が増加しており、国民400人に1人が透析を受けている現状であります。当院における透析件数も右肩上がりに増加の一途をたどっており、旧病院では10床であった透析室ベッド数を、新病院では20床に増床して対応しております。高齢で体力が低下した患者さまや、精神疾患合併の患者さまが、少しでも透析中の苦痛やつらさが軽くなるようにスタッフ一丸となって取り組んでおります。

また、高齢者や心機能低下者に優しいと言われている腹膜透析にも真剣に取り組んでおります。新病院では専用の腹膜透析室を設置し、旧病院時代には皆無であった腹膜透析患者さんが現在ではすでに10名以上にのぼり、元気に家庭で腹膜透析を続けておられます。



透析件数推移表

腹膜透析を始めるためには、保存期慢性腎不全の早期のうちに専門医に御紹介いただく必要があります。熊本市が中心となって取り組んでいるCKD（慢性腎臓病）対策が功を奏して、早期に御紹介いただく患者様が増えてきたことが、腹膜透析という第二の選択肢を選択できるようになった一つの誘因と思われます。最終的にはCKDをさらに早期に治療し新しく透析を始める患者さまがゼロになることが目標です。先生方には何かとお世話になることも多いと思いますが、よろしくご協力をお願いいたします。

（血液浄化センター長 富田 正郎）

2010 診療科紹介(28)

糖尿病・内分泌内科



部長
東 輝一朗
内科一般、内分泌・代謝一般、
糖尿病
日本内科学会認定医
日本内科学会指導医
日本内分泌学会内分泌・代謝科専門医
日本内分泌学会内分泌・代謝科指導医
日本糖尿病学会専門医
日本人間ドック学会人間ドック認定医
日本人間ドック研修関連施設指導医
日本医師会認定産業医
日本内科学会九州地方会評議員
日本内分泌学会九州地方会評議員
日本内分泌学会代議員
臨床修練指導医
臨床研修指導医
国際医療福祉大学大学院特任教授
日本糖尿病協会療養指導医



医長
豊永 哲至
内科一般、糖尿病、脂質代謝、
内分泌・代謝一般
日本内科学会認定医
日本内科学会指導医
日本糖尿病学会専門医
日本糖尿病学会研修指導医
日本医師会認定産業医
日本人間ドック学会員
日本糖尿病学会学術評議員
日本内分泌学会代議員
日本内分泌学会九州地方会評議員
日本病態栄養学会評議員
日本体質医学会評議員
熊本大学医学部臨床教授
熊本大学医学部非常勤講師
日本糖尿病協会療養指導医

診療内容・特色

平成21年9月より内分泌・代謝内科から糖尿病・内分泌内科へ診療科名を変更しました。

平成21年度の入院患者は319名で、糖尿病では2型糖尿病166名、妊娠糖尿病26名、1型糖尿病18名、糖尿病性ケトアシドーシス8名、高浸透圧高血糖症候群7名でした。内分泌疾患では、バセドウ病6名、原発性アルドステロン症5名、甲状腺機能低下症4名、続発性副腎機能低下症4名、非機能性副腎腫瘍3名、SIADH3名、原発性副甲状腺機能亢進症2名、クッシング症候群1名、亜急性甲状腺炎1名、末端肥大症1名、インスリンノーマ1名、汎下垂体機能低下症1名でした。



医師
児玉 章子
内科一般、内分泌・代謝一般、
糖尿病、救急医療
日本医師会認定産業医
日本内科学会員
日本糖尿病学会員
日本内分泌学会員
日本救急医学会



医師
島川 明子
内科一般、糖尿病、
内分泌・代謝一般
日本内科学会員
日本糖尿病学会員
日本内分泌学会員

教育研究

教育・研修施設としては平成9年より日本糖尿病学会認定施設、平成16年より日本内分泌学会認定教育施設、平成21年より日本人間ドック研修関連施設に認定されています。

平成12年より毎月地域の先生方と一緒に糖尿病の勉強会（三木会）を行っています。この会は、日本医師会生涯教育講座1.5単位、日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位（2群）0.5単位を取得出来ます。

特色

糖尿病・内分泌内科は、糖尿病を中心に脂質異常症、甲状腺疾患、副甲状腺疾患および副腎疾患などを対象に診療を行っています。糖尿病血糖コントロール・教育（10日間）、インスリン導入（3日間）、妊娠糖尿病、低血糖など多くのクリティカルパスを用いて治療を行っています。

ご案内

外来は、月曜日から金曜日まで毎日行っています。糖尿病教育は、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士がチームを組んで取り組んでいます。

年に3回（3月、6月、10月の第三水曜日）の大規模な糖尿病教室（この時試食会を行っています）と週に2回、通常の糖尿病教室（やさしい糖尿病教室）を行っています。糖尿病教室への参加は自由です。

糖尿病教室運営委員会編改訂3版「わかりやすい糖尿病教室テキスト」（じほう）の重版を平成22年4月に出版しました。糖尿病の日常診療に御活用頂ければうれしく思います。

いま、国立病院機構
熊本医療センターで
何が研究されているか

シリーズ 46回



いま、救命救急・集中治療部で行われている臨床研究

救命救急・集中治療部長 高橋 毅

救命救急・集中治療部では様々な臨床研究を行っています。その一部をご紹介します。

特に遠隔医療の分野には力を入れており、救急患者の病院前診療の高度化に関する研究では日本をリードする成果をあげており、日本初の広域遠隔救急医療システムを熊本から発信して行きたいと考えています。また治験に関しましても、日本で最も多くの国際共同治験を行っています。現在も新セプシス治療薬の国際共同治験へ向けて日本での第Ⅱ相試験を行っています。

■次世代型モバイルテレメディンシステムの開発と広域遠隔救急医療体制への応用研究■

モバイルテレメディンシステムは救急車内に設置されたテレビカメラと12誘導心電図により、プレホスピタルの患者情報をいち早く病院へ伝送することにより超急性期医療から高度医療までの連続した情報ネットワークの構築を目指す新医療システムであります。現行のモバイルテレメディンシステムを改良した次世代モバイルテレメディンシステムを開発し、プロトタイプによる実証実験を行います。また、熊本県のすべての三次救急医療機関で情報の受け入れができる体制を構築します。

■血中プロカルシトニン値による外因性救急病態の評価■

本研究は国立病院機構他施設共同研究として、内因性病態である重症感染症・敗血症の重要なマーカーとなっている血中プロカルシトニン（PCT）が外因性病態で上昇するのかどうかを調査します。その結果、

種々のサイトカインが上昇する重症外因性病態でもPCTが上昇する可能性があり、重症度・予後を予測する因子になりえる可能性について検討します。

■自然災害による広域災害時における効果的な初期期医療の確保及び改善に関する研究■

本研究は厚生労働省研究委託事業として、自然災害による広域災害時における、消防との連携のガイドラインの策定、情報システムと連携した災害カルテの開発、域内・域外搬送のガイドラインの策定、広域医療搬送開始前の救命活動における戦略の提示と域外拠点の活動ガイドラインの開発、航空機災害対応も含んだ航空拠点の活動ガイドライン、トリアージの手法とタグの改善案の提示、広域災害救急医療情報システム（EMIS）と連携した病院内情報システムの開発、研修の見直し、指揮命令系統も含めたDMAT活動要領の改訂、DMATの自己完結性を補完するロジスティック拠点の運営ガイドライン、マニュアルの開発、医師会、日本赤十字社、国立病院機構等の関係機関との連携ガイドラインの策定を行います。

■AZD9773第Ⅱ相臨床治験■

TNF α を標的とするヒッジ由来ポリクローナルFab断片による日本人重症セプシス患者及びセプティックショック患者を対象とした第Ⅱ相多施設共同臨床試験を行っています。対象は重症の敗血症の患者様です。この結果により、第Ⅲ相国際共同治験が予定されています。

ホームページをご利用下さい。診療、研修、研究など情報満載です。

くまびょうNEWS55号から継続して掲載されています。

国立病院機構熊本医療センター ホームページアドレス <http://www.hosp.go.jp/~knh/>

研修医レポート

臨床研修医

1年次 ^{ふくだ} 福田 ^{まさよ} 真世



こんにちは。研修医1年目の福田真世と申します。4月から研修が始まり、早くも4か月が経ちました。自分の知識不足を思い知らされる毎日ですが、多くの方から様々なことを学ばせていただいております。充実した研修生活を送っております。

私は救急部から研修が始まり、腎臓内科を回り、次は麻酔科でお世話になります。

救急部では、ルート確保、血液ガス採血、気管内挿管、中心静脈カテーテル挿入などといった多くの手技を学ばせていただきました。自分ができないときには先生方が丁寧に指導してくださり、なぜ自分できなかったのかをフィードバックできました。治療の侵

襲の強いことが多いため、常に患者様への配慮を忘れないということも学ぶことができました。救急外来では重症から軽症まで様々な患者様の救急処置に携わり、病棟では重症な患者様が多く人工呼吸器管理や輸血、血液透析、血漿交換を行うこともありました。毎日変化が多く、貴重な経験をさせていただきました。

腎臓内科では毎朝透析患者様のシャント穿刺を行い、PTAや腎生検、シャント形成術の助手をさせていただくなど、患者様の治療に直接関わることで多くの良い経験をさせていただきました。また、自分が担当医となることで患者様に対する責任や、どのようにすれば患者様と良好な関係が築けるのかなどといった医師にとって重要なことを学ばせていただきました。医師となって初めて行うことや初めて知ることもあり、上手くいかないことも多いですが、周りの皆様にいつも支えられております。これまでの経験やこれから経験していくことを大切に、更に医師としての自覚を持って積極的に医療に携わっていかうと思います。ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしく申し上げます。

臨床研修医

1年次 ^{すがた} 菅田 ^{じゅん} 淳



こんにちは、研修医1年目の菅田淳と申します。気がつけば、もう研修期間も4か月が経過し、二つの診療科の研修が終わってしまいました。次々に、学ぶべきこと、身につけるべきことにつづっては、四苦八苦する毎日を送っております。

私の研修は、循環器内科から始まりました。本当に何もわかっていなかった私は、身体所見の取り方を学ぶところからスタートしましたが、一方で、急性心筋梗塞の心臓カテーテル治療に触れるなど、専門的な内容についても学んでいくことになりました。実際のところ、研修を始めるにあたって準備不足だった私としては、先生方の指導を十分に吸収しきることはできませんでしたが、その分だけ何をするにしても真新

しく、興味を持って日々の研修を過すことができました。指導医の先生につきましては、一つの診療科として学ぶべきことを指導して頂くだけでなく、今後の研修過程の送り方も含めて指導していただき、大変感謝しております。

2つ目の診療科としては、救命救急部にて学ばせて頂きました。救命救急部はこの病院の特徴を象徴するような診療科であり、日々多くの救急患者さんが受診し、慌ただしい毎日を過ごしました。採血やルート確保などの手技に始まり、CVカテーテル挿入や気管内挿管など様々な手技を学ぶことができ、また、多様な症例の治療・診断に携わることができました。救急部の先生方の忙しくも和気あいあいとした雰囲気のおかげで、楽しく研修を送ることができました。

まだまだ未熟な私ではありますが、精一杯、研修生活を過していこうと思っております。ご面倒をかけることも多いとは思いますが、どうぞご指導・ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

研修のご案内

第65回 特別講演(無料)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

日時▶平成22年9月8日(水)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長 国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 野村 一俊

「高齢化社会におけるロコモティブシンドロームについて」

熊本大学大学院生命科学研究部運動骨格病態学教授 水田 博志 先生

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター TEL 096-353-6501(代表) FAX 096-325-2519

第140回 月曜会(無料)

(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

日時▶平成22年9月13日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

1. 胸部レントゲン読影

2. 持ち込み症例の検討

3. 症例検討「自然経過で発症した脾梗塞の一例」

国立病院機構熊本医療センター消化器内科 尾上 公浩

4. ミニレクチャー「肺高血圧について」

国立病院機構熊本医療センター循環器内科 平田 快紘

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線、心電図、その他がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター研修部長 清川 哲志 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

第109回 三木会(無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]

[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶平成22年9月16日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室2

1. 「低ナトリウム血症の2例」

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科

島川明子、楊拓也、児玉章子、高橋毅、豊永哲至、東輝一朗

2. 「インクレチン関連薬」

国立病院機構熊本医療センター糖尿病・内分泌内科

豊永哲至、楊拓也、島川明子、児玉章子、高橋毅、東輝一朗

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、お持ちいただきますようお願い致します。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一朗 TEL 096-353-6501(代表) 内線5705

第5回 症状・疾患別シリーズ(会員制)

[日本医師会生涯教育講座2.5単位認定]

日時▶平成22年9月18日(土)15:00~17:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長:熊本市医師会

立石 徳隆 先生

演題:「呼吸器疾患におけるステロイド剤の使い方」

1. 気管支喘息

熊本中央病院 副院長

吉永 健 先生

2. 間質性肺炎

済生会熊本病院呼吸器科部長

菅 守隆 先生

3. ARDS・敗血症

国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科医長

柏原 光介

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費10,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は1回会費2,000円で参加いただけます。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局

TEL 096-353-6501(代表) 内線2630 096-353-3515(直通) FAX 096-352-5025(直通)

第107回 救急症例検討会(無料)

日時▶平成22年9月22日(水)18:30~20:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

症例検討「四肢外傷」

国立病院機構熊本医療センター整形外科部長 橋本 伸朗

救急救命士、救急隊員を含めた全ての医療従事者を対象とした症例検討会です。

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501(代表) 内線2630 096-353-3515(直通)

第27回 熊本がんフォーラム(無料)

日時▶平成22年9月29日(水)19:00~21:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター

座長

川野病院院長

川野 尚 先生

「膀胱癌をやっつける! -熊本医療センター泌尿器科の治療戦略-」

国立病院機構熊本医療センター泌尿器科医長

菊川 浩明

その他、一般演題を数題準備しています

[問合せ先] 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部長 芳賀克夫 TEL:096-353-6501(代表) 内線2630 096-353-3515(直通)

2010年

研修日程表

9月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

9月	研修センターホール	研修室	その他
1日 水			17:00~18:30 血液形態カンファレンス C 2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C 1
2日 木			7:50~ 9:00 整形外科症例検討会 C 1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C 2
3日 金			8:00~ 8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~ 9:00 消化器病研究会 C 1 17:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
4日 土	9:00~12:00 楽しく学ぶ研修 「がん看護とWOCの視点からみた口腔ケア」		
6日 月			8:00~ 8:30 MGH症例検討会 C 1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
7日 火			15:00~16:30 血液病懇話会 C 2 15:00~18:00 外科術前後症例検討会 C 1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
8日 水	19:00~20:30 第65回 特別講演 [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 座長 国立病院機構熊本医療センター統括診療部長 野村 一俊 「高齢化社会におけるロコモティブシンドロームについて」 熊本大学大学院生命科学研究部運動骨格病態学教授 水田 博志		17:00~18:30 血液形態カンファレンス C 2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C 1
9日 木	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会		7:50~ 9:00 整形外科症例検討会 C 1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C 2
10日 金			8:00~ 8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~ 9:00 消化器病研究会 C 1 17:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
11日 土	14:00~16:00 第224回 滅菌消毒法講座 「一次処理の中央化と感染対策」	愛知厚生連海南病院医療安全管理部 島崎 豊	
13日 月	19:00~20:30 第140回 月曜会 (内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座 単位認定]		8:00~ 8:30 MGH症例検討会 C 1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
14日 火			15:00~16:30 血液病懇話会 C 2 15:00~18:30 外科術前後症例検討会 C 1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C 2 18:30~21:00 泌尿器科・放射線科合同ウロプログラム C 1
15日 水			17:00~18:30 血液形態カンファレンス C 2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C 1
16日 木		19:00~20:45 第109回 三木会 (研2) (糖尿病、脂質異常症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座 単位認定] [日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]	7:50~ 9:00 整形外科症例検討会 C 1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C 2
17日 金			8:00~ 8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~ 9:00 消化器病研究会 C 1 17:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
18日 土	15:00~17:30 第5回 症状・疾患別シリーズ [日本医師会生涯教育講座2.5単位認定] 座長 熊本市医師会 立石 徳隆 「呼吸器疾患におけるステロイド剤の使い方」 1. 気管支喘息 熊本中央病院 副院長 吉永 健 2. 間質性肺炎 済生会熊本病院呼吸器科部長 菅 守隆 3. ARDS・敗血症 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科医長 柏原 光介		
21日 火			15:00~16:30 血液病懇話会 C 2 15:00~18:00 外科術前後症例検討会 C 1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
22日 水	18:30~20:00 第107回 救急症例検討会 「四肢外傷」		17:00~18:30 血液形態カンファレンス C 2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C 1
24日 金			8:00~ 8:30 麻酔科症例検討会 手 8:00~ 9:00 消化器病研究会 C 1 17:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
25日 土	9:30~16:00 第27回 ナースのための心電図セミナー 〈講演〉心電図の基礎 各種心疾患における心電図 不整脈 〈実習〉心電計の取り扱い方	国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長 宮尾 雄治 国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長 藤本 和輝 末藤内科循環器科 院長 末藤 久和 国立病院機構熊本医療センター循環器内科医長 藤本 和輝 国立病院機構熊本医療センター循環器内科 古賀 英信 国立病院機構熊本医療センター循環器内科 本多 剛 国立病院機構熊本医療センター循環器内科 平田 快敏	
27日 月			8:00~ 8:30 MGH症例検討会 C 1 16:00~18:00 泌尿器科病棟カンファレンス 5西 17:00~18:00 小児科カンファレンス 6西
28日 火	18:30~20:30 血液研究班月例会		15:00~16:30 血液病懇話会 C 2 15:00~18:00 外科術前後症例検討会 C 1 18:00~21:00 救急部カンファレンス C 2
29日 水	19:00~21:00 第27回 熊本がんフォーラム 座長 川野病院 院長 川野 尚 「膀胱癌をやっつける！」 -熊本医療センター泌尿器科の治療戦略- 国立病院機構熊本医療センター泌尿器科医長 菊川 浩明		17:00~18:30 血液形態カンファレンス C 2 17:30~19:00 消化器疾患カンファレンス C 1
30日 木	18:30~20:00 日本臨床細胞学会熊本県支部研修会	19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50~ 9:00 整形外科症例検討会 C 1 17:00~19:00 循環器カンファレンス 6北 17:30~19:00 超音波カンファレンス 消 18:00~19:00 糖尿病・内分泌内科カンファレンス C 2

研1~3 2階研修室1~3 C1・2 3階カンファレンスルーム1・2 5西 5階西病棟 6西 6階西病棟 6北 6階北病棟 消化器病センター読影室 手術室

問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター2階 地域医療研修センター

TEL 096-353-6501 (代) 内線2630 096-353-3515 (直通)